

【様式2】

- ①下記②③以外の場合 ⇒ チェックリスト①を使用  
 ②当該設備が一代前モデルのソフトウェア組込型機械装置（中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。）である場合 ⇒ チェックリスト②を使用  
 ③当該設備がソフトウェア（中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。）である場合 ⇒ チェックリスト③を使用  
 【チェックリスト①】

記入見本		設備メーカー（製造事業者）記入欄		証明者 チェック欄
該	最新モデルに該当するか	1. 該当                      2. 非該当		
	<p>下記の（ア）又は（イ）のいずれかに該当</p> <p>（ア） 当該設備は、取得等をする年度から起算して、一定期間（※1）以内に販売が開始されたものであり、かつ販売以降、当該設備より新しい同種同用途のモデルは販売されていない</p> <p>（イ） 当該設備は、販売開始年度が取得等をする年度及びその前年度であるモデルである。</p>	<p>販売開始年度： <b>2011年</b></p> <p>取得等をする年度： 2014年</p>		<p>申請対象装置の販売開始年です</p>
当  要件	生産性向上に該当するか	1. 該当                      2. 非該当		
		〈比較指標〉 （*）以下の1～4までのいずれかの指標で比較。		
		1. 生産効率                      * 以下に具体的に記入する 新装置 1200個/時 1世代前の装置 800個/時		
		2. 精                      度                      * 以下に具体的に記入する		
		3. エネルギー効率                      * 以下に具体的に記入する		
		4. その他                      * 以下に具体的に記入する		
<p>当該設備の一代前モデルと比較して年平均<b>1%以上の生産性向上</b>を達成している。</p>		<p>〈比較指標〉 * 比較する指標の数値・単位を記入する</p> <p>○一代前モデル： 800個/時 (販売開始年度)                      <b>2005年</b> )</p> <p>○当該モデル： 1200個/時                      <b>1世代前の装置の販売開始年です</b></p> <p>〈生産性向上〉 * 以下に数値と算出方法を記入する</p> <p>年平均：                      8.3%</p> <p>算出式 <math>[(1200-800)/800] \times 100 / (2011-2005) = 8.3</math></p> <p><b>1%以上ですので対象となります</b></p>		
先端設備の可否		1. 該当                      2. 非該当		

（※1）一定期間は、機械装置：10年、工具：4年、器具備品：6年並びに建物及び建物附属設備：14年とする。  
 （※2）当該設備が器具備品のうちサーバー用の電子計算機である場合には、中小企業者等（情報通信業のうち自己の電子計算機の情報処理機能の全部又は一部の提供を行う事業を行うものを除く。）が取得又は製作をするもののみが対象となる。